

## ◎ 地域医療研修プログラム概要

### ●目的

I 地域を知る。 II 地域に生きる人を知る。 III 地域の医療を知る。

病院で患者さんを診ることはもっとも重要な研修であるが、その地域独特の、地域の人達に育てられた地域医療を知るためには、意識をして「地域を知る」「地域に生きる人を知る」という姿勢が必要であると考え、「地域を知る」「地域に生きる人を知る」を「地域の医療を知る」ことより上位の目的として位置づけた。具体的には「地域を知る」ことは、実際にこの地域の色々な場所に出掛けて五感で地域を知ることにある。「地域に生きる人を知る」というのは、まずは地域の住民である病院職員達と患者さんと仲良くなり、話をたくさんすることにある。職員達とは、仕事を通じてプラスアルファの話をするのもよいし、一緒に遊びに行くのもよい。患者さんとは、診察を通じて地域のことや生活のことを聞くのもよい。さらにできうるならば、病院を飛び出して地域の皆さんと話をできればなおのことよい。

## ●病院・必修研修

- ・病棟・救急実習：研修の基本はここにあり。
  - \* 始めの一週間はこれのみ行い、病院・病棟に慣れるよう全力を注ぐ。
- ・院内旅行：病院を大まかに知るとともに、「地域に生きる人を知る」の最初のステップである。
  - \* 院内地図をもとにして病院内の位置関係を把握する。

### ○初日

- \* ひとまずの挨拶をする。 \* 職員を知る。 \* 各部門の役割と場所を知る。
  - \* 時間をかけていくつかの部門を訪問する。
- ・モーニング・カンファレンス：前日入退院患者さんのプレゼンテーション、各種連絡等。
  - 毎朝8:30 ~
    - \* 速やかなプレゼンテーションの方法を学ぶ。 \* 日々の内科全体の動きを知る。
    - \* 担当以外の患者さんの情報を知る。
- ・入院患者検討会：入院患者さんについての検討・上級医による指導
  - 毎週火曜日夕方
    - \* 内科全体の動きを知る。 \* 担当以外の患者さんの情報を知る。
    - \* 担当患者さんについて指導を受ける。

## ●病院・必修研修

### ・プライマリ・ケアカンファレンス、プライマリ・ケアレクチャー

○毎週水曜日・木曜日AM7:30～8:00

\* 札幌医大地域医療総合医学講座が行っている全国規模のカンファレンスに参加

\* 水曜日は主に症例検討、木曜日は講義

\* 一方向ではなくチャット等を通じて双方向の情報交換・交流を行う。

### ・週間振り返り：研修医・センター長・事務担当者が一週間を振り返る。

○毎週木曜日昼

\* 生活・研修等の現状を報告し要望を伝える。 \* 何を学んだかを表現する。

\* 次週以降のプログラムの決定・調整を行う。

### ・地域連携レクチャー：病院と地域との連携を知る。

\* この地域での連携の必要性・活用法などを地域連携室担当者から学ぶ。

### ・超音波検査研修

\* 技術研修として学ぶ。 \* 希望に応じて継続的な研修も可能。

### ・研修報告会：地域医療研修で「感じたこと・学んだこと・考えたこと」を発表する。

\* 聴衆は研修に関わってくれた院内外の皆さん、医療福祉介護に関心のある高校生たち。

\* 研修終了日に行う。 \* 発表時間は15～20分。 \* 発表内容・方法については特に制限はない。自由に行う。

### ・「研修医通信」作製

\* 同時期に過ごした同僚との共同作業として作製。

\* 地域医療研修で「感じたこと・学んだこと・考えたこと」を記す。 \* 形式は指定しない。自由。

## ●地域・必修研修

- ・診療所実習：地域に密着した診療所の活動を、外来・往診・巡回診療等を通じて体験する。
  - \* 紀和診療所：外来・巡回診療・往診
  - \* 尾呂志診療所：外来・往診
  - \* 荒坂診療所：外来・往診
  - \* 研修期間中複数回体験。
- ・熊野消防署研修
  - \* 消防署の機能、この地域の救急事情などを消防署署員から学ぶ。
  - \* 司令室で119番コールの実際を見学する。 \* シミュレーション訓練を見学する。
- ・故郷訪問：自分の五感で患者さんの故郷を感じる
  - \* 目的は、患者さんの故郷を知る、生きている場所を知る、周囲の人達を知る
  - \* 受け持ち患者さんでもコミュニケーション良好な患者さんを選ぶ。
  - \* 選択した中から最も遠いところに居住している患者さんを選ぶ。
  - \* 故郷についてはどこにあるか自分で探す。
  - \* できるだけ公共交通機関を使い、ひとりで行く。
  - \* 半日かけてその患者さんの故郷を訪ねる。
  - \* 故郷で何をするかは自由だが、半日はその場に留まる。
  - \* 最低一人とその地の人と話す。
- ・地域内探索
  - \* 休日・診療時間後を利用して、できるだけ沢山の地域を訪れる。

## ●チャンス研修

(定期的には行われてないイベントだが、あれば積極的に参加)

- ・老人保健施設(きなん苑)研修
  - ・タウンミーティング参加：病院の行う地域活動に参加
    - \* 病院・医師会・消防署の三者合同で、地域に赴いて住民の皆さんと話し合う活動。
    - \* 参加し、参加者の一員として行動する。
  - ・ミニ・タウンミーティング：小さな集落に行って住民の人達と話し合いをする
    - \* 少人数の住民の皆さんと膝を突き合わせて様々な話し合いをする。
    - \* 地域そのものを知る。 \* 地域に生きる皆さんを現場で知る。
  - ・市町の行事に参加：地域の人達と交流する。
    - \* いきいきサロン・健康相談など、市町が実施している住民の皆さんの集まる会に赴く。
    - \* 健康相談・体操・雑談を通じて交流する。
  - ・高校・大学・救急救命士等の教育に参加：「教える」ことを体験する。
    - \* 救急救命士の院内実習での指導を行う。
    - \* 医学部学生の実習の指導を行う。 \* 高校生の研修の講師となる。
  - ・患者さんを通じて他科を知る：小さな病院であればこそその連携のよさを体験してもらう。
    - \* 受け持ち患者さんの手術等、他科での診療に参加する。
- 医師会会合参加
- 院内・院外講師による講義・指導
- 丸山千枚田イベントに参加

## ●オプション研修

(希望により実施可能)

- ・保健所訪問：保健所活動に関心がある場合に実施
  - \* 保健予防活動を体験する。
- ・地域内の医療機関を訪れる。県内外の他のへき地医療機関を訪れる。
  - \* 他の場所を見るのは自分の位置を確かめるのに最適な方法である。
  - \* 紀南医師会員の先生方の医療機関を訪れる。
  - \* 特徴あるへき地、離島の診療所を訪れる。(神島・飛騨・揖斐・その他)
- ・救急車同乗実習：救急の現状を知るとともに、救急隊員の活動を間近で体験する。
  - \* 病院と消防署が互いに助け合って活動していることを体験する。
  - \* 救急車同乗
  - \* 救急隊員と交流する。
  - \* 要望に応じて救急隊員に対して講義等を行う。
- ・内科以外の科での研修
- ・クラブ活動
- ・ホームステイ、、、などなど